

第7回 山口県レフェリーキャンパス 2018 in 宇部 2018. 8. 21

宇部マテフレッセラテニスコート（宇部市中央テニスコート）第一会議室

ミニ国体お疲れ様でした。

8月21日（火）19時30分から、宇部では3回目となる第7回山口県レフェリーキャンパスが内田康博氏のお世話で開催されました。

参加者は下の写真左下から内田、山本健一、杉山、西嶋、左上から島川、宮成、黒田、大原、山本晃広、石原、そして撮影者・大井の11名。



講義内容

1. 「テクノロジーを活用した判定方法の導入について」（山本健一氏）

2018年度前期S2昇級試験合格の報告から始まりました。VAR導入についての競技規則の解説は、映像を駆使した多くの例示があり、とてもわかりやすいプレゼンでした。「誤審」がなくなり、判定力の向上に役立てば…。



2. 「役に立つこと」(杉山崇氏)

2018年度S I 2昇級予定の報告から始まりました。自らの仕事の知識・経験に基づいたオリジナルのプレゼンでした。主審の時、選手が脳震盪を起こしたらどう対応するか。参加者にはよいシミュレーションになりました。杉山氏に「負傷者の対応」についてプラクティカルトレーニングの宿題をお願いしました。



3. 「ゲーム分析」(内田康博氏)

今年注目の「PK」。適用ミスのないように、常に競技規則を確認しましょう。



「餃子の王将」2次会には7名の参加がありました。サッカー、審判の話題だけでなく、お互いの近況報告などで、貴重な時間を共有しました。

次回の宇部開催は10月16日(火)。今年大活躍の西嶋瞭氏に、たくさん参加した研修会の報告をしてもらう予定。乞うご期待！